

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願い

聖隸浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	塞栓源不明脳塞栓症、奇異性脳塞栓症に対する卵円孔閉鎖術成績の検討
研究責任者	聖隸浜松病院 脳卒中科 石井辰仁
研究実施体制	当院のみで実施される研究
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ~ 2030年12月31日
対象者	2016年4月1日以降に塞栓源不明脳塞栓症、奇異性脳塞栓症と診断され、ブレインハートカンファレンスで卵円孔閉鎖術について協議がなされた患者さん
研究の意義・目的	奇異性脳塞栓症のみならず、近年になって卵円孔開存症を有する潜因性脳塞栓症に対する卵円孔閉鎖術が標準治療となり、当院でも治療実績が積み上がってきています。それと同時に患者の定期評価を外来で継続していることから、治療成績の評価の必要が出てきていると考えています。これまでの症例を元に患者背景や合併症についてのデータベースを作成しつつ、今後もデータベースに診療情報を蓄積することで、診療の改善に向けた評価を適宜行うことができると考えます。概ね1年おきに振り返ることで、診療の質を担保することを目的とします。
研究の方法	2016年4月1日から塞栓源不明脳塞栓症、奇異性脳塞栓症に対する卵円孔閉鎖術において、患者背景を列記した後に、術後の脳梗塞再発率や卵円孔再開通率を主に評価し、データベースを作成することで、適宜評価を行い、安全性や有効性を探索します。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に 係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隸浜松病院 脳卒中科 石井辰仁 TEL:053-474-2222(代表) 神経内科外来 9:00~17:00 平日